

# つくばエクスプレスと都心部臨海地域地下鉄の接続事業化促進

## 期成同盟会 決起集会

### 決議文

つくばエクスプレスは、筑波研究学園都市建設法に基づき国際的に高水準の研究・教育の一大拠点整備されている筑波研究学園都市を起点とし、大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法を活用して、鉄道と良好な居住環境を一体的に実現した全国でも稀有な成功事例であり、大都市圏の生活向上と沿線自治体の発展に大きく寄与し、我が国の科学技術振興と持続的成長を支える、極めて重要な社会基盤である。

一方、都心部・臨海地域地下鉄は、交通政策審議会答申第371号において、世界から人、企業、投資を呼び込み、東京と日本の持続的成長を牽引する基幹的な交通インフラとして位置づけられており、国際的なビジネス拠点である東京駅と国内外から多くの人々が訪れる豊洲・築地など臨海部を結ぶ、日本と東京の成長に不可欠な路線である。

つくばエクスプレスを東京駅へ延伸し、この二つの路線を東京駅で接続する、ひいてはつくばと羽田空港間の直通運転を行うことで、筑波研究学園都市、都心・臨海部、そして世界が結びつき、その整備効果は最大限に発揮されるものと確信する。

つくばエクスプレスの東京駅延伸については、交通政策審議会答申（平成28年第198号、令和3年第371号）に記載され、都心部・臨海地域地下鉄との接続により、事業の費用便益比や政策課題解決への寄与度が一層高まるとの見解が示されている。これを踏まえ、当期成同盟会では首都圏新都市鉄道株式会社及び東京都に対し要望活動を実施し、意義と熱意を伝えている。要望活動の効果もあり、首都圏新都市鉄道株式会社では令和7年度の事業計画で東京延伸の調査に着手し、当期成同盟会と連携して調査勉強会を開催するなど、検討の深度化が進んでいる。

加えて、令和7年11月に中央区で開催された「都心・臨海地下鉄新線推進大会2025」では、学識経験者からつくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄との接続について講演があったほか、当期成同盟会会長が挨拶を行い、決議にも接続に関する事項が盛り込まれるなど、都心部・臨海地域地下鉄沿線と一体となった機運の醸成が進んでいる。

つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の接続による、意義や事業効果、費用などについて早期に示され、沿線全体で事業化に向けた活動を強力に推進していくことで、つくばエクスプレスにおいては延伸ルート及び新東京駅接続部分の計

画や地元の様々な協力体制の構築等が可能となり、都心部・臨海地域地下鉄に関しては、つくばエクスプレスとの接続を踏まえた駅周辺のまちづくりや車両基地の配置も含めた路線・車両運用計画の策定が可能となる。

以上を踏まえ、つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の沿線自治体及び政界が一丸となって「つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の接続事業化促進期成同盟会」の活動を推進していくとともに、下記の事項について、国や沿線自治体等に強力に働きかけるものとする。

#### ■国の成長戦略への位置づけ

都心・臨海地域と筑波研究学園都市の接続は、国内主要研究・教育機関と世界を結び、東京都及び東京大都市圏への国際的投資を誘発し、国の成長戦略の実現に大きく寄与するものである。本プロジェクトが国の成長戦略に位置づけられるよう活動すること。

#### ■事業推進に向けた国のスキームづくり

国家的プロジェクトである両線の接続を早期実現するためには、既存の枠を超えた新たなスキームが不可欠である。財政支援等を含め、国に対し新たなスキームを策定するよう活動すること。

#### ■沿線自治体との合意形成及び連携強化

プロジェクト推進のためには沿線全自治体による活動が重要である。沿線全自治体の連携強化と合意形成に向けた働きかけを行うこと。

以上、決議する

令和8年4月6日

つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の接続事業化促進期成同盟会